

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37765
事業名	交通施設バリアフリー化等推進費					
評価担当課	所属名	政)総合交通計 交通計画課				
	課長名	荒木 敏光	担当者名	高桑 謙	電話番号	211-2275
施策名	主	歩いて暮らせるまちづくり				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	バリアフリー化するバスターミナル 1施設 公共地下空間におけるエレベーター設置基数 3基			
		長期	・旅客施設等の乗継抵抗の緩和や利便性向上などにより、公共交通の利用を促進するとともに、移動制約者(障害者、高齢者など)の積極的な社会参加を促進する。			
	取組内容	都心・拠点などの交通施設のバリアフリー化を推進する。 ①地下鉄エレベーターの増設(新さっぽろ駅、大谷地駅、北24条駅) ②バスターミナルのバリアフリー化(円山バスターミナル) ③新札幌駅前広場改修 ④JR駅バリアフリー化補助(上野幌駅) ⑤地下歩行ネットワークのあり方の検討				
実施結果	①地下鉄駅のエレベーター設置に向けて、新さっぽろ駅と大谷地駅のエレベーター設置に係る実施設計を行うとともに、北24条駅の対策内容を検討した。 ②円山バスターミナルのバリアフリー化および老朽化対策に係る検討を実施した ③新札幌駅前広場(西口)の改修工事に係る実施設計を実施した ④JR上野幌駅ホームに転落防止対策の視覚障がい者誘導ブロック(内方線)を整備した ⑤地下歩行ネットワークのあり方を検討した					
事業実施における工夫点	各業務について、専門的なノウハウを有するコンサルタント等に委託し業務を実施するとともに、特定財源(市債等)を活用しながら事業を推進している。					
対象者	市民、来街者、公共交通利用者等	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)」					
他都市の状況	他都市でもバリアフリー法等に基づき、旅客施設のバリアフリー化や利便性向上の取組を行っている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	53,305	253,000	61,693	253,000	
うち特定財源	25,000	216,000	39,000	217,000	
人工	2.5	2.5	2.5	2.5	
人件費	18,000	18,000	18,000	18,000	
計(事業費+人件費)	71,305	271,000	79,693	271,000	
事業費の内訳	令和3年度決算	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄大谷地駅エレベーター整備設計 43,465千円 JR駅バリアフリー化工事費補助 1,800千円 JR駅新札幌駅前広場改修設計 8,750千円 地下歩行ネットワーク拡充に係る調査・検討 7,678千円 			
	令和4年度予算	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄新さっぽろ駅エレベーター整備設計 23,789千円 地下鉄大谷地駅エレベーター整備工事 218,732千円 地下鉄北24条駅エレベーター整備設計 5,515千円 円山バスターミナルのバリアフリー化検討 4,217千円 地下施設への接続に関する基準を取りまとめたガイドラインの作成 747千円 			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	エレベーター・エスカレーターの設置基数(累計)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	4基	4基	4基	4基	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	公共地下空間におけるエレベーター設置基数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	-	-	-	-	
成果指標2	指標名	バリアフリー化するバスターミナル数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	-	-	-	-	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	①地下鉄駅のエレベーター設置に向けて、新さっぽろ駅と大谷地駅のエレベーター設置に係る実施設計を行うとともに、北24条駅の対策内容を検討した。 ②円山バスターミナルのバリアフリー化および老朽化対策に係る検討を実施した ③新札幌駅前広場(西口)の改修工事に係る実施設計を実施した ④JR上野幌駅ホームに転落防止対策の視覚障がい者誘導ブロック(内方線)を整備した ⑤地下歩行ネットワークのあり方を検討した			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	①整備効果の高い地下鉄駅のバリアフリールート複数化を推進する ②④利用者数の多いバスターミナルや鉄道駅のバリアフリー化を推進する ③ポールパーク開業に伴うバス輸送拠点として新札幌駅前広場(西口)の改修を推進する ⑤地下歩行ネットワークのあり方を検討し、地上地下の回遊性向上を推進する			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	専門的なノウハウを有するコンサルタント等に委託して業務を実施するなど、効果的・効率的な事業執行に努めた。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	①乗継経路を対象にバリアフリールートが増加することで地下鉄駅利用者の利便性が向上する ②バリアフリー化および老朽化対策によりバスターミナルのバリアフリー環境を整備する ③ポールパーク開業に伴うバス利用者の円滑な乗継が可能となる ④視覚障がい者の安全性向上に向けて内方線を整備した ⑤地下歩行ネットワークの充実を図ることで、歩行者の利便性が向上する			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	なし				
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし			見直し効果額(前年度)	0千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	地下鉄駅のエレベーター設置に向けた設計など、交通施設のバリアフリー化に係る検討が着実に進められているため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 交通施設のバリアフリー化に向けて、これまでの取組を継続する。			
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 交通施設のバリアフリー化に向けた適切な予算による工事等を進める。			見直し効果額